

旧久米家住宅洋館



4/6(土) オープン

旧久米家住宅洋館(上之町 1161-3)
 開館時間 9:30~17:00
 休館日 水曜日、祝日の翌日
 観覧料 無料

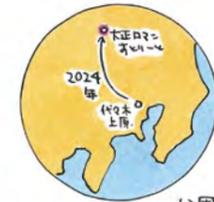
記念式典終了後(11:00頃)から見学できます
 問合せ 文化財保護課文化財保護係 ☎内線 2602

イラストで見る 見どころ紹介

編集者・画文家 宮沢洋さん/著



大正ロマンストリートに2024年、仲間入りした「旧久米家住宅洋館」。解体一歩手前の危機から見事に復活!!

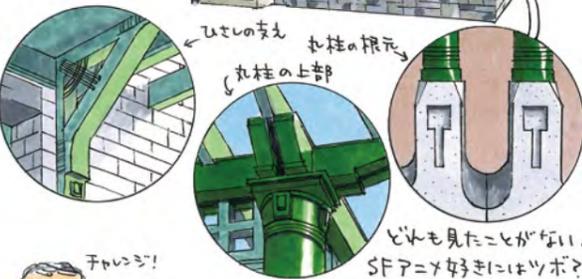


1912年(大正元年)ごろ、東京・代々木上原に建てられた。
名誉市民・久米民之助
 建て主は久米民之助。1861~1931 沼田市出身の実業家。現在の沼田公園(沼田城跡)を私財を投じて整備した。この洋館は、解体直前に、故郷・沼田への移築が決まった。

セセッション

デザインは、ドイツやオーストリアなどおこなった「セセッション」の影響を受けている。セセッションは、幾何学的な装飾が特徴だ。

だから、手回しでもよく見ると、SF、新しいデザイン。



「ファインジ!」
 土木技師行方ともあった久米民之助の進取の精神がよくわかる。

コンクリートの束

移築作業は、床の一部がガラス張りになり、床下の「コンクリートの束」が見える。床下には、短冊柱のこ。

大正ロマンエリアを散策しよう



開館時間 9:30~17:00 休館日 水曜日、祝日の翌日
 観覧料 旧土岐家住宅洋館・生方記念文庫は大人 110円
 P1 駐車台数 4台 P2 駐車台数 1台、身体障がい者用 2台



大正ロマンエリアの街並み



民之助が建てた当時の姿に復原
 シャンデリア、暖炉、壁紙などは、古い写真や解体調査を基に復原しました。

記念講演会

復原移築事業に携わった皆さんが講演します。

とき 4月6日(土) 13:30~16:00

ところ 旧日本基督教団沼田教会記念会堂

講師 志岐祐一さん(代々木上原旧久米邸洋館保存プロジェクト)から、取り壊しの計画があると市に連絡があったことから、市民の助ゆかりの建造物で、歴史的価値が高いことから移築を決定。解体調査を経て、令和3年3月から工事を行い、いよいよ開館を迎えます。

講師 志岐祐一さん(代々木上原旧久米邸洋館保存プロジェクト)、長井淳一さん(旧久米家住宅洋館解体調査・設計監理担当)、大島善徳さん・岡本まさあきさん(「まんが久米民之助物語」制作担当)、内田青蔵さん(神奈川大学特任教授)
 定員 60人(先着順)
 観覧料 無料
 申込み 文化財保護課文化財保護係 ☎内線 2602

沼田公園生みの親 久米民之助の応接間

本市名誉市民の久米民之助が、現在の東京都渋谷区に構えた邸宅は、敷地面積およそ2万坪という広さと建物の豪華さから「代々木御殿」と呼ばれていました。その一部の応接間として使われていた洋館を、上之町の大正ロマンエリアへ移築しました。明治末から大正初期頃の建築と推定される歴史的建造物です。



久米民之助 1861~1931

沼田藩倉内(現・東倉内町)生まれ。皇居二重橋を設計、実業家として国内外の鉄道事業に携わり、衆議院議員も務めた。私財を投じて荒地だった沼田城址を公園として整備し、旧沼田町に寄付した。



現在の沼田公園の下公園にある平八石を囲む民之助(左)ほか